別紙

ＩＣＴ活用工事（基礎工（港湾））計画書

当該工事において、施工プロセスの各段階および作業内容において、

ＩＣＴを活用する場合は、左端 のチェック欄に「レ」と記入する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施工プロセスの段階 | 作業内容 | 採用する技術番号（参考） | 技術番号・技術名 |
| □ | ①３次元起工測量 | □ | （基礎捨石を行う場合） |  | １　マルチビームを用いた深浅測量 |
| □ | ②３次元数量計算 | □ | （基礎捨石を行う場合） |
| □ | ③ＩＣＴを活用した施工 | □ | （基礎捨石を行う場合） |  | １　捨石投入用バケット位置と目標投入位置をリアルタイムで可視化する技術 |
| □ | （機械敷均し（重錘式）を行う場合） |  | ２　均し機の位置と目標均し高さをリアルタイムで可視化する技術 |
| □ | ④３次元出来形管理 | □ | （機械敷均し（重錘式）を行う場合） |  | １　施工履歴データを用いた出来形計測 |
| □ | （人力均し等を行う場合） |  | ２　マルチビームを用いた深浅測量 |
| □ | ⑤３次元データの納品 | ①②④により作成した３次元データを、工事完成図書として電子納品する。 |

注 1) ＩＣＴ活用工事（基礎工（港湾））の詳細については、ＩＣＴ活用工事（基礎工（港湾））特記仕様書及び試行要領によるものとする。

注 2) 具体的な工事内容及び対象範囲については、契約後、施工計画の提出までに、発注者へ提案・協議し決定する。